

< 第60回ほほえみの会 2000年度総会 >

ほほえみの会も発足以来6年を迎え今年度の総会が開かれました。

およそ60人が参加、子どもも20人が来てくれ、総会の間ボランティアの方が面倒を見てくれました。99年度の活動報告、会計報告が行われた後、役員が選出されました。副代表の鈴木さんに代わり渡辺さん、村瀬さんが副代表を引き受けて下さいました。よろしくお願ひします。

< 2000年度役員 >

代表	池田恵一		
副代表	村瀬彰子	渡辺真澄	
世話人	藤田妙子	杉山禎	鈴木利治
	鈴木啓之	堀内雅士	
会計	小嶋隆		

< 体験談 >

清水市の望月康宏さん(22)中学3年の時急性リンパ性白血病になり、病名の告知を受けたとき、また治療中の気持ちを正直に語ってくれました。

最初は貧血といわれたが自分でも違うと思った。病名を知ってからは点滴でも納得して受けた。でも治療中は辛く、親にもわがママを多く言ったが、同じ病室にいた1年先輩の人、また先生や看護婦さんの支えがあって乗り越えられた。病気の時に頑張ったから今の自分がある。常に笑顔で行きたい。周りの皆さんに感謝。と、常に前向きな気持ちと、感謝の気持ちをお話してくれました。

< 講演 >

小俣智子さん 横浜旭中央総合病院ソーシャルワーカー

小俣さんも13歳の時に急性リンパ性白血病になり、今は小児がん経験者の会「フェロートゥモロー」の会でも活動もされています。

今回は「フェロートゥモロー」について主にお話下さいました。

この会は病名を知っている人たちの集まりで、自分の経験や悩みを話し合ったり、遊びに行ったりして仲間づくりと情報交換、それに社会への働きかけをしているというこ

とです。現在会員は東京を中心に約30人いるとのこと。

ご自身大学、大学院で福祉の勉強をして就職をしたとのことですが、就職の際には主治医に頼んで「健康」としてもらい、職場では病気のことは知られていないとのこと。

また総会には「がんの子どもを守る会」のソーシャルワーカー樋口明子さんも来て下さり会員の悩みに答えて下さいました。

子どもの生命保険や学資保険の入り方などのウラ情報も教えていただきました。

< 医療最新情報のお話 >

「同種(自分以外の兄弟、血縁、非血縁)末梢血幹細胞移植」と「臍帯血(へその緒)幹細胞移植」について高嶋先生、天野先生に説明をしていただき医学の進歩の早さをお話頂きました。

次回は7月9日(日)11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail k1iked@nifty.com

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~hohoemi/>